

岳南都市圏都市交通マスタープラン 交通施策の進捗状況

【R5.3時点】

岳南都市圏が目指す都市交通像 富士山のふもと 活発な交流と住みやすさを支える交通ネットワーク			取組件数	うち完了
方針Ⅰ ◆集約連携型都市構造による「活力創出」に寄与する交通体系の構築			39	17
活力	戦略1	広域連携・交流を支える「都市連携軸」の強化	9	1
	戦略2	生活拠点機能を補完し合う「地域間連携」の強化	30	16
方針Ⅱ ◆安全・安心で快適な生活を支える交通体系の確立			46	16
安全・快適	戦略3	誰もが利用しやすい「安全・快適な交通環境」の確保	32	11
	戦略4	命を守る「防災・減災機能」の強化	14	5
方針Ⅲ ◆交流促進・連携強化による観光を支援する交通体系の確立			37	31
観光・魅力	戦略5	世界遺産富士山を活かした魅力ある「観光ネットワーク」の構築	26	21
	戦略6	自動車もかしこく使う「多彩なモビリティサービス」の展開	11	10

《昨年度からの進捗状況》

【取組全体の進捗状況】

- 全体として、取組事業数が昨年度より6事業増え、総事業数は122事業
- 事業完了、取組実施が4事業増加

【個別の施策進捗状況】

- 富士裾野線（今宮バイパス）箇所：富士市一色 L=0.3kmの整備が完了
- 富士市にて、歩きたくなるまちなかの形成に向け、市民有志による検討会を組織し、ワークショップを開催し、「まちなか空間活用推進計画（案）」の作成に着手
- 富士宮市にて防災都市づくり計画の基礎調査を実施
- 新富士駅と富士駅に表富士広域の観光案内看板を設置
- あらたなモビリティサービスの活用に向けて、先進地等の視察の実施
- 富士市富士川地区におけるコミュニティ交通実証運行開始